

沼津  
高架Public Involvement Project  
PIプロジェクトNEWS  
創刊号

平成24年3月1日

パブリックインボルブメント(P I)は、市民や関係者の皆さんとコミュニケーションを図りながら計画の検討を進める取り組みです。

沼津高架P Iプロジェクトが始まりました  
P I実施計画(案)に対する意見を募集しています

静岡県では、沼津駅付近鉄道高架事業について徹底した合意形成を図るため、パブリックインボルブメント(P I)を実施しています。このP Iの進め方や実施体制などを定めた「P I実施計画」(案)について、広く県民の皆さんから意見を募集しています。

意見の募集期間 平成24年2月20日(月)～3月18日(日)

## 問合せ先

静岡県交通基盤部都市局 街路整備課 054-221-2218  
静岡県沼津土木事務所 都市計画課 055-920-2222

## 意見書送付先

## ①持参又は郵送の場合

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号  
静岡県交通基盤部都市局街路整備課 または  
〒410-0055 沼津市高島本町1番3号  
静岡県沼津土木事務所都市計画課

## ②FAXの場合 054-221-3586

## ③電子メールの場合 numazu-pi@pref.shizuoka.lg.jp

## PI実施計画(案)の配布場所

P I実施計画(案)や意見提出様式は、沼津土木事務所都市計画課(東部総合庁舎8階)、沼津市役所や各地区センターなどで配布しています。

また、沼津土木事務所ホームページにも掲載しています。

<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-830/kouka/index.html>

## オープンハウスでは直接ご意見を伺います

市民の皆さんにP I実施計画(案)などを知っていただけるよう、オープンハウス(パネル展示)を行います。

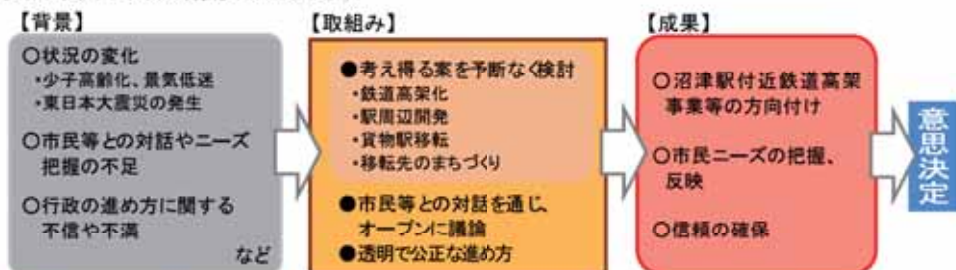
日時:3月10日(土)、11日(日)10時～20時

会場:インパシプラザ 1Fセントラルコート(沼津駅近く)

## 最大限のコミュニケーションを図っていきます～沼津高架P Iプロジェクトとは～

静岡県では、沼津駅付近鉄道高架事業等について改めて方向付けをするため、平成23年6月に定めた県の推進方針(裏面参照)に基づき、沼津高架P Iプロジェクトを立ち上げました。

沼津高架P Iプロジェクトでは、鉄道高架化や駅周辺開発、貨物駅移転などについて、市民や関係者の皆さんと最大限のコミュニケーションを図りながら、オープンに議論していきます。

互恵的解決を目指します  
～沼津高架P Iプロジェクトのビジョン～

## P Iの基本理念

- 「不幸を生まない」解決策の模索
- 沼津中心市街地の活性化と拠点地区まちづくりの推進
- 次世代につながる社会資本の整備
- 建設的、協調的、自律的、公正な議論と信頼構築

- ✓ 複数の論点があつかり合う状況
- ✓ 二項対立的構図

- ✓ 多様な利害や関心が絡み合う状況

## 互恵的解決

- ✓ 関連する複数の論点を含む様々な解決策を対象
- ✓ 多様な利害や関心がそれぞれ顧みられる解決策を選択

ご意見・お問い合わせは  
静岡県沼津土木事務所  
都市計画課鉄道高架班まで

〒410-0055 静岡県沼津市高島本町1番3号

URL:<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-830/kouka/index.html>mail:[numazu-pi@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:numazu-pi@pref.shizuoka.lg.jp)

TEL:055-920-2222

沼津高架PI



# 市民の皆さんとのコミュニケーションが始まっています

## PI委員会

沼津高架PIプロジェクトが透明で公正に進められているかを監視し、助言、評価するため、第三者の有識者で構成するPI委員会を昨年11月に設置しました。

PI委員会は、これまでに3回開催し、PIの進め方や実施体制、市民の皆さんとのコミュニケーションの方法などについて定めたPI実施計画について議論しています。

## ヒアリング

PI実施計画(案)を検討するにあたり、沼津駅付近鉄道高架事業や貨物駅移転に関わる主な関係者(ステークホルダー)の皆さんにご意見を伺うヒアリングを行いました。

ヒアリングを公正に行うため、第三者の専門家をインタビュアーとして実施し、これまでの鉄道高架事業への関わり方や事業に対する期待や懸念などをお聴きしました。

## PI委員会のスケジュールと役割(案)

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 第1回(H23.11.23) | ・事業概要とPIの取組み  |
| 第2回(H24.1.16)  | ・PIの基本的考え方    |
| 第3回(H24.2.11)  | ・PI実施計画(案)の作成 |

～PI実施計画(案)の情報提供、意見募集～

- |           |               |
|-----------|---------------|
| 第4回(日時未定) | ・PI実施計画のとりまとめ |
| H24年度～    | ・PIの助言、監視、評価  |

## ヒアリングで出された主な意見

- これまでの経緯について  
・20年以上前から高架化の実現を目指す活動を進めてきた。これ以上事業が遅れるのは困る。これまでの経緯を尊重してほしい。  
・高架化や貨物駅移転の必要性に関して十分な討議がされていないのでは。
- 沼津駅周辺の高架化事業について  
・物流や人の流れを重視した南北交通の確保及び関連した跡地利用をもとに沼津の活性化の契機としたい。  
・高架化は沼津の活性化につながるかは疑問だ。
- 原地区への貨物駅移転について  
・先祖代々の土地であり、歴史文化や景観、環境保全の観点から貨物駅移転には反対だ。  
・貨物駅に津波対策を配慮すべきだ。
- 沼津のまちづくり、原地区のまちづくりについて  
・高架化を契機として静岡県東部の拠点都市にふさわしい都市機能の集積をめざすべき。  
・どちらの地域もまちづくりのビジョンはまだ検討すべき課題が多い。
- 今後のPIの進め方について  
・話し合い自体は望ましいし期待しているが、どのような枠組みでの話し合いとなるかが問題だ。



## 静岡県沼津駅付近鉄道高架事業推進方針 (H23.6)

1. 沼津駅や沼津港を含む都心エリアについては、静岡県周辺や浜松駅周辺にはない新たなコンセプトに基づき、県と市が市民参加のもとまちづくりを進めていく。
2. 沼津駅付近鉄道高架事業は、県東部地域の発展を支える核となる事業であり、時間管理の概念にも留意しつつ、鉄道貨物駅の移転を含め着実に推進していく。この際、大きな事業費を要することから、コスト意識を持って臨む。
3. 沼津貨物駅の移転先は、周辺地域を含め地域の発展に資するものとならなければならない。県と市は一体となって、関係機関の協力を得つつ、配置計画の見直しを含め関係者間の徹底した合意形成を図る。この際、防災の視点も考慮する。
4. 合意形成にあたり、市民参加型計画策定手法である**パブリックインボルブメント(PI)方式**を導入し、専門家の協力を得て、手続きを含めて議論していく。
5. 合意形成の過程において、近傍駅への統合など他の選択肢の議論を否定しない。いずれの場合であっても十分な合意形成を行う。



沼津駅周辺の様子